



平成17年8月8日

各 位

会社名 株式会社メディビック
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘
(コード番号2369:東証マザーズ)
問合せ先 執行役員管理本部長 川井隆史
(Tel: 03-5510-2407)

Glufosfamide の国内臨床開発計画について

メディビックは、昨年12月24日にプレスリリースいたしました、米バイオベンチャー Threshold Pharmaceuticals 社（以下「THLD 社」という。）との「日本を含むアジア地域において抗がん剤 Glufosfamide の開発、販売を行うための共同開発契約」に基づいて、THLD 社との「共同開発委員会」を設立し、本剤の「開発計画」の詳細について合意をいたしました。

合意の内容に基づき、メディビックは 2006 年上半期間に日本国内においてすい臓がんを対象とした抗がん剤 Glufosfamide の臨床開発に着手いたします。本剤はすい臓がんを適応症として、現在、THLD 社によって米国で単剤による第Ⅲ相、併用治療による第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験を実施しております。わが国においては第Ⅰ相臨床試験より開始いたします。また、合意された「開発計画」には本剤の更なる適応症についても、試験を行うことが含まれています。

すい臓がんは国内の患者数が 14,000 余名と言われ、わが国では、肺がん、胃がん、結腸がん、肝臓がんに次ぐ 5 番目に死亡者の多いがんであります。今のところ、わが国内ですい臓がんの有効な治療薬は極めて少なく、生存率が 2~3%と極めて低いことから難治性疾患の一つに挙げられています。

2004 年におけるすい臓がん治療薬の国内市場は約 30 億円規模と言われており、患者数も十年後には 40,000 人を超えとも予測され、それに伴いマーケット規模も 2~3 倍に膨れ上がると想定されています。

メディビックは THLD 社との契約において、アジアでの販売による収益の分配の権利を獲得する上で 500 万ドルを計上し、既に支払いを終えております。500 万ドルの内 475 万ドルは臨床開発の費用に使われます。また、THLD 社とメディビックの臨床の専門家からなる「共同開発委員会」では本剤の国内治験戦略を設計し、「開発計画」に添い、日本での

上市、他アジア諸国での上市を目指し開発を進める予定です。

なお、当社平成 17 年 12 月期（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）における当期業績見通しに与える影響については軽微と考えておりますが、業績見通しの変更などが出てきた場合には速やかにご案内申し上げます。

ご参考

<Threshold Pharmaceuticals, Inc.>

電 話 1(650)474-8206

担当者 Denise Powell

URL www.thresholdpharm.com

以上